

『第4回 なごやぬいぐるみ病院勉強会

ホスピタルクラウンに学ぶ ～クラウンの役割とコミュニケーション～ 』

の、まとめ♪

文責：柴田

❖日時

2011/5/15（日）13:45～16:00

❖場所

名古屋大学医学部鶴舞キャンパス講義棟 第4講義室

❖内容

今回来て下さったのは、NPO 団体のホスピタルクラウンに所属されている「シャンティ」さん。プロのクラウンです。プロとしての言葉には、重みを感じられました。和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しくお話を聞き、ワークショップを行うことができました♪

最初に、シャンティさんが自身のパフォーマンスを見せて下さり、皆、拍手喝采でした。ホスピタルクラウンに関するDVDを見たあと、シャンティさんからお話しを聞き、棒や手を組んだワークを行いました。

その中で、特に心に残ったものを挙げます♪

「訪問するかしないかは子どもの選択性であり、拒否も彼らの主張」

「自分が見せたいという思いだけではダメ。セーブもスキルの内」

「自分たちには病気を治す事は出来ない。治すつもりもない」

『子ども>>クラウン>>先生』制限からの脱却」

「小さなことでもいい。例えば、クラウンの色や刺激。そんなことが何かのきっかけになれば」

「yes,and の精神」

「どれだけ本気でままたとできるか(クラウン K の言葉)」

「ペアで行くことで、やり過ぎに気付く」

クラウンさんからは、ぬいぐるみ病院をやって行くにあたって、とても多くの気づきや発見がありました。小児医療に関わる人々は、医療者だけじゃないと、改めて感じた1日でした(^^♪。